

# MHAMライフ ナビゲーション ファンド

[MHAMライフナビゲーション 2050・MHAMライフナビゲーション 2040・MHAMライフナビゲーション 2030・MHAMライフナビゲーション インカム]  
追加型投信／内外／資産複合

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国および海外の株式・公社債等に分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2021年7月1日～2022年6月30日

第12期末 (2022年6月30日)		
	MHAMライフナビゲーション 2050	
基準価額	20,995円	
純資産総額	436百万円	
第12期	騰落率	△2.4%
	分配金合計	0円
第22期末 (2022年6月30日)		
	MHAMライフナビゲーション 2040	MHAMライフナビゲーション 2030
基準価額	13,664円	12,800円
純資産総額	2,160百万円	2,209百万円
第22期	騰落率	△2.6%
	分配金合計	0円
	MHAMライフナビゲーションインカム	
基準価額	11,942円	
純資産総額	546百万円	
第22期	騰落率	△2.8%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

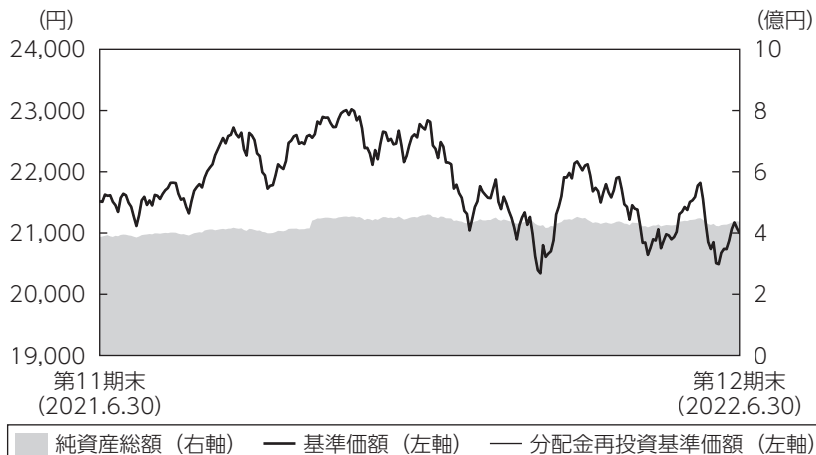
アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### MHAMライフ ナビゲーション 2050

#### 基準価額等の推移



第12期首：21,517円  
 第12期末：20,995円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：△2.4%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

#### 基準価額の主な変動要因

各マザーファンド受益証券を基本資産配分比率に基づいて組み入れを行った結果、国内の株式、債券市場が下落したことから基準価額は下落しました。

#### [組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入ファンド	騰落率
MHAM日本株式マザーファンド	△4.0%
MHAM日本債券マザーファンド	△2.2%
MHAM海外株式マザーファンド	3.3%
MHAM海外債券マザーファンド	2.1%
MHAM短期金融資産マザーファンド	△0.0%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第12期		項目の概要
	(2021年7月1日 ～2022年6月30日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	312円	1.430%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は21,810円です。
(投信会社)	(110)	(0.506)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(182)	(0.836)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 19)	(0.088)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	9	0.041	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 9)	(0.041)	売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	2	0.008	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 2)	(0.008)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	18	0.082	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 17)	(0.078)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	340	1.560	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

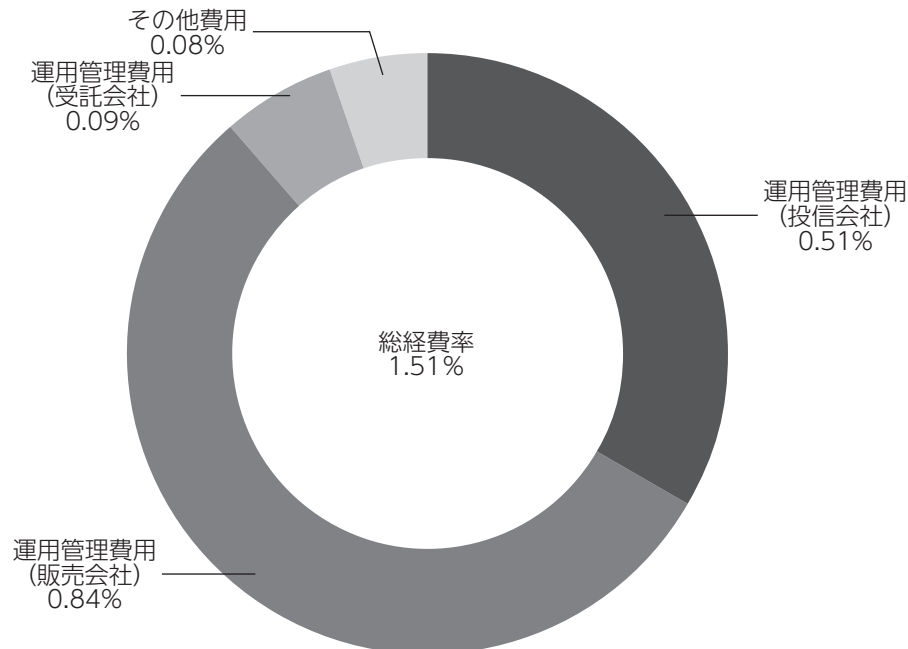
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**(参考情報)**

## ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

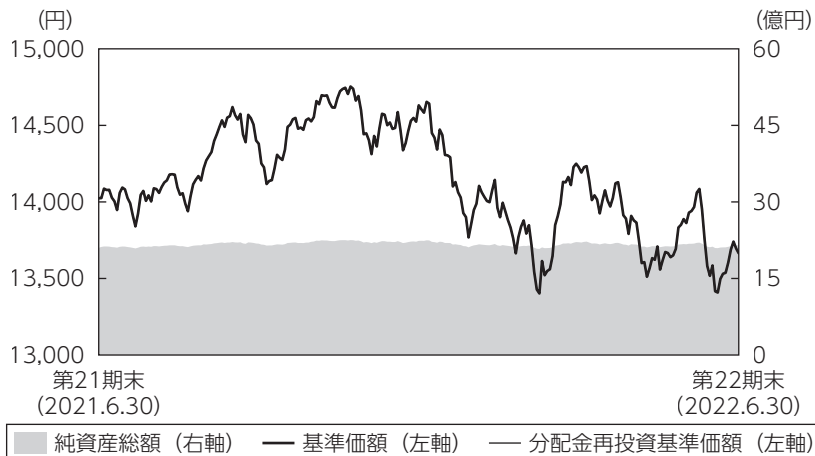
(注3) 分配金再投資基準価額は、2017年6月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年6月30日 期首	2018年7月2日 決算日	2019年7月1日 決算日	2020年6月30日 決算日	2021年6月30日 決算日	2022年6月30日 決算日
基準価額 (分配落)	(円) 17,476	18,419	18,041	18,268	21,517	20,995
期間分配金合計 (税引前)	(円) -	170	10	20	200	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%) -	6.4	△2.0	1.4	18.9	△2.4
参考指数の騰落率	(%) -	4.1	△1.0	0.1	18.2	△0.5
純資産総額	(百万円) 102	146	214	282	386	436

(注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークを当ファンドの所与の基本資産配分比率に基づき合成した指数です。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の<組入マザーファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション 2040

## ■ 基準価額等の推移



第22期首：14,024円  
 第22期末：13,664円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：△2.6%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンド受益証券を基本資産配分比率に基づいて組み入れを行った結果、国内の株式、債券市場が下落したことから基準価額は下落しました。

## [組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入ファンド	騰落率
MHAM日本株式マザーファンド	△4.0%
MHAM日本債券マザーファンド	△2.2%
MHAM海外株式マザーファンド	3.3%
MHAM海外債券マザーファンド	2.1%
MHAM短期金融資産マザーファンド	△0.0%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第22期		項目の概要
	(2021年7月1日 ~2022年6月30日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	187円	1.320%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,132円です。
(投信会社)	( 65)	(0.462)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(109)	(0.770)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 12)	(0.088)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.030	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 4)	(0.030)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 1)	(0.006)	
(d) その他費用	9	0.064	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 8)	(0.060)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	201	1.420	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

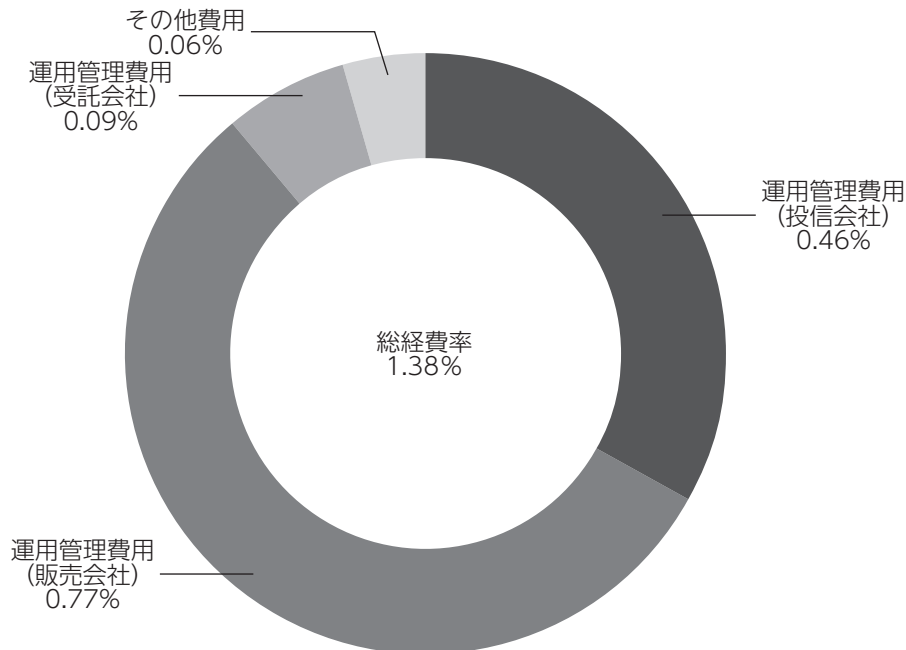
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**(参考情報)**

## ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.38%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



## 最近5年間の基準価額等の推移



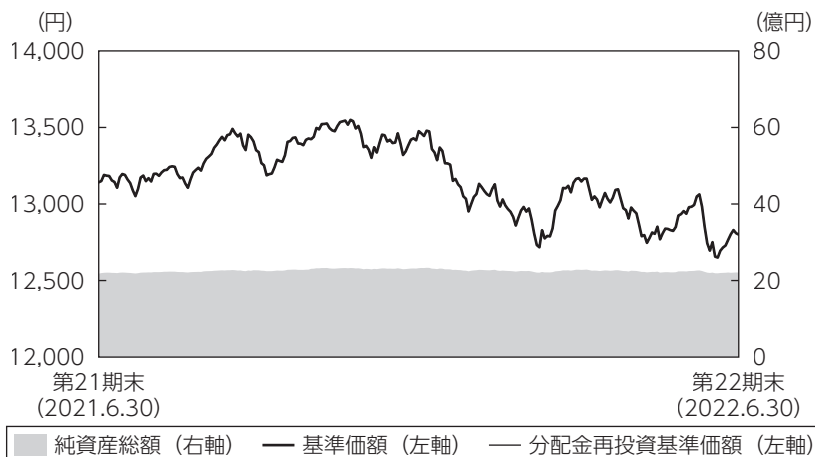
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年6月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年6月30日 期首	2018年7月2日 決算日	2019年7月1日 決算日	2020年6月30日 決算日	2021年6月30日 決算日	2022年6月30日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	11,931	12,425	12,264	12,414	14,024	13,664
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	110	0	0	110	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	5.1	△1.3	1.2	13.9	△2.6
参考指数の騰落率 (%)	—	3.4	△0.2	0.1	13.6	△0.9
純資産総額 (百万円)	1,516	1,653	1,730	1,784	2,100	2,160

- (注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークを当ファンドの所与の基本資産配分比率に基づき合成した指数です。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の<組入マザーファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション 2030

## ■ 基準価額等の推移



第22期首：13,142円  
 第22期末：12,800円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：△2.6%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンド受益証券を基本資産配分比率に基づいて組み入れを行った結果、国内の株式、債券市場が下落したことから基準価額は下落しました。

## [組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入ファンド	騰落率
MHAM日本株式マザーファンド	△4.0%
MHAM日本債券マザーファンド	△2.2%
MHAM海外株式マザーファンド	3.3%
MHAM海外債券マザーファンド	2.1%
MHAM短期金融資産マザーファンド	△0.0%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第22期		項目の概要
	(2021年7月1日 ～2022年6月30日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	159円	1.210%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,160円です。
(投信会社)	( 56)	(0.429)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 91)	(0.693)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 12)	(0.088)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.018	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 2)	(0.018)	売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.003	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 0)	(0.003)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	5	0.042	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 5)	(0.038)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	168	1.273	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

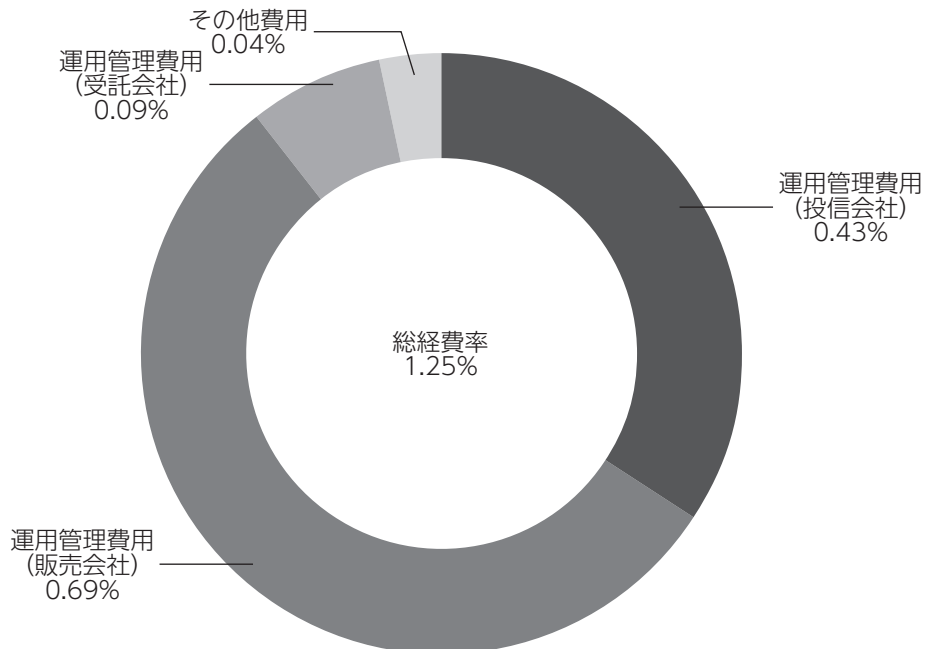
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**(参考情報)**

## ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.25%です。



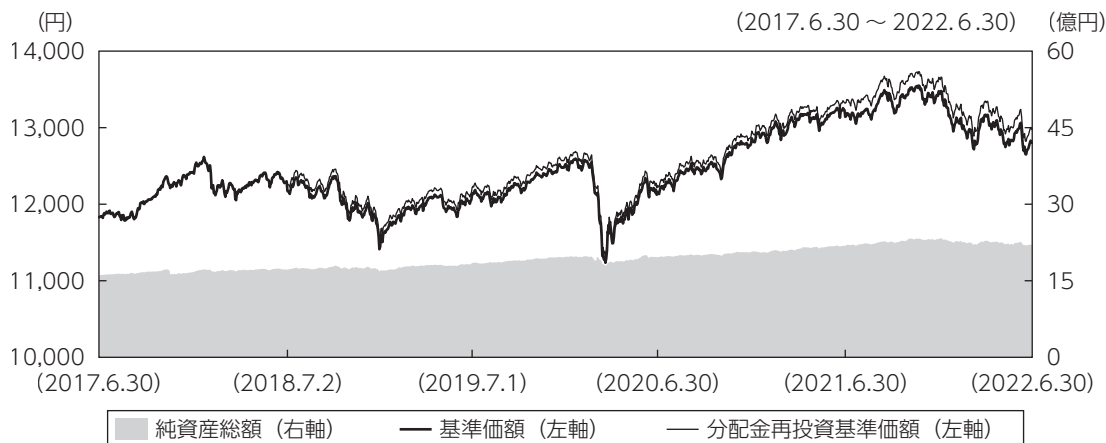
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



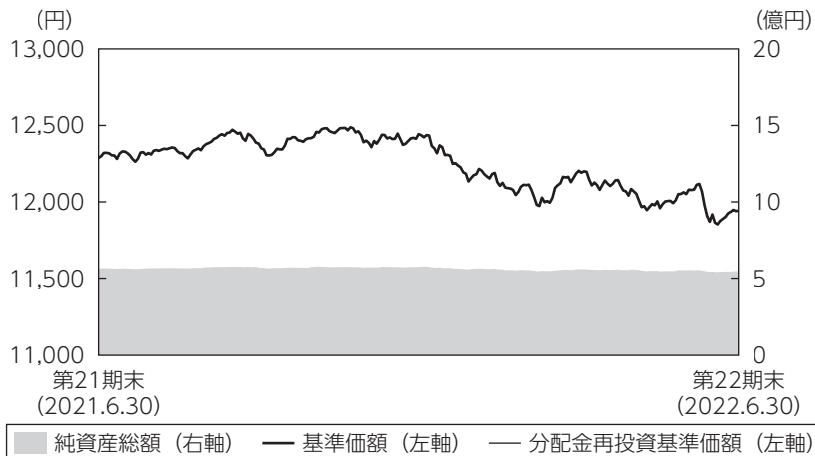
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年6月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年6月30日 期首	2018年7月2日 決算日	2019年7月1日 決算日	2020年6月30日 決算日	2021年6月30日 決算日	2022年6月30日 決算日
基準価額 (分配落)	(円) 11,829	12,171	12,127	12,157	13,142	12,800
期間分配金合計 (税引前)	(円) -	90	0	0	80	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%) -	3.7	△0.4	0.2	8.8	△2.6
参考指数の騰落率	(%) -	2.7	0.7	△0.1	8.8	△1.4
純資産総額	(百万円) 1,597	1,709	1,847	1,968	2,179	2,209

- (注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークを当ファンドの所与の基本資産配分比率に基づき合成した指数です。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の<組入マザーファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション インカム

## ■ 基準価額等の推移



第22期首：12,288円  
 第22期末：11,942円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：△2.8%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンド受益証券を基本資産配分比率に基づいて組み入れを行った結果、国内の株式、債券市場が下落したことから基準価額は下落しました。

## [組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入ファンド	騰落率
MHAM日本株式マザーファンド	△4.0%
MHAM日本債券マザーファンド	△2.2%
MHAM海外株式マザーファンド	3.3%
MHAM海外債券マザーファンド	2.1%
MHAM短期金融資産マザーファンド	△0.0%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第22期		項目の概要
	(2021年7月1日 ～2022年6月30日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	135円	1.100%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,243円です。
(投信会社)	( 62)	(0.506)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 62)	(0.506)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 11)	(0.088)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.011	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 1)	(0.011)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 0)	(0.002)	
(d) その他費用	3	0.026	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 3)	(0.022)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	139	1.138	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

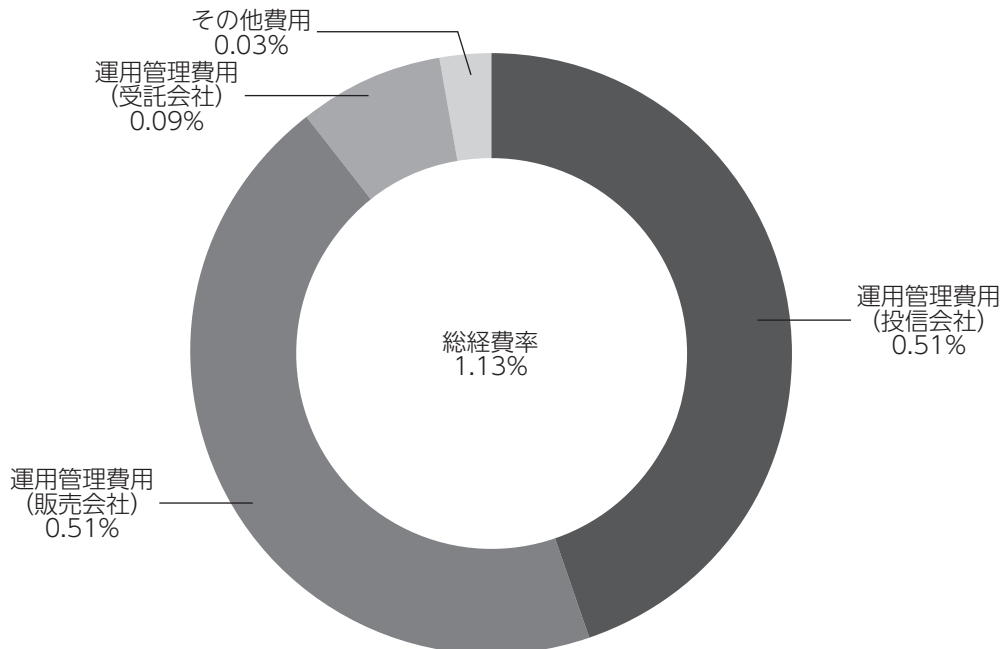
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**(参考情報)**

## ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.13%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

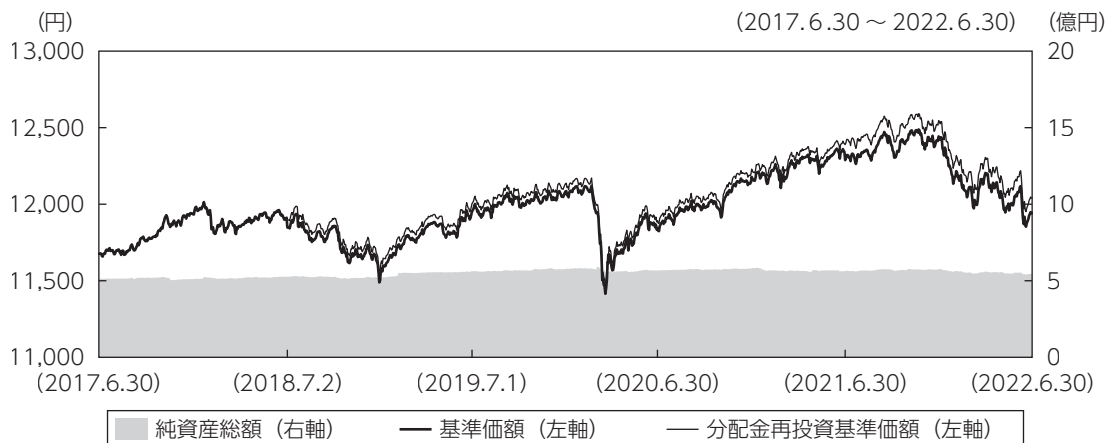
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年6月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年6月30日 期首	2018年7月2日 決算日	2019年7月1日 決算日	2020年6月30日 決算日	2021年6月30日 決算日	2022年6月30日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	11,676	11,848	11,954	11,844	12,288	11,942
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	50	0	0	50	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	1.9	0.9	△0.9	4.2	△2.8
参考指数の騰落率 (%)	—	1.8	1.6	△0.7	4.6	△1.9
純資産総額 (百万円)	512	524	561	567	562	546

- (注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークを当ファンドの所与の基本資産配分比率に基づき合成した指数です。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の<組入マザーファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション ファンド

## ■ 投資環境

## ● 国内株式市況

期首から12月にかけては概ね横ばいで推移しました。1月から3月前半にかけては、米国の政策金利引き上げに対する懸念やロシア・ウクライナ情勢の悪化などから大きく調整しました。3月後半は、二国間の和平交渉の進展や円安進行にともなう企業業績の改善などへの期待が高まり上昇に転じましたが、4月以降は米国の金融引き締めへの警戒感が強まり、再び軟調な展開となりました。

## ● 国内債券市況

国内債券市場は、NOMURA-BPI総合で見ると、2.8%下落しました。期初0.050%で始まった新発10年国債利回り（以下、長期金利）は、年末に向けて概ね0%~0.100%の狭いレンジでの推移が続きました。年明け以降は、米国を中心に海外中央銀行が物価上昇を抑制するために金融政策の引き締めを加速させる可能性が高まった影響を受け、海外金利につれて長期金利は0.250%まで上昇したものの、日銀が長期金利の上昇を0.250%で抑えるスタンスを明確にしたことで、金利上昇は抑制され、0.225%で期末を迎えました。

## ● 海外株式市況

外国株式市場は、期初から2021年末にかけては、米バイデン政権による経済対策やワクチン普及を背景にした経済活動正常化への期待感、良好な経済指標と企業業績等に支えられながら上昇しました。しかしその後は、インフレを背景とした金融引き締め加速への懸念に加え、ロシアによるウクライナ侵攻、さらには中国における行動制限措置などから景気動向に対する警戒感が強まり、下落基調で推移しました。

## ● 海外債券市況

米国10年国債利回りは、新型コロナウイルスの変異株による景気動向への懸念から一時上昇幅を縮小した後、インフレ懸念やFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げや、利上げ加速観測の高まりから大幅に上昇しました。ドイツ10年国債利回りは、変異株による景気懸念から一時上昇幅を縮小した後、ウクライナ情勢の緊迫化を受けたインフレ懸念の高まりやECB（欧州中央銀行）による利上げ加速観測の高まりから大幅に上昇しました。

## ● 短期金融資産市況

無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。日本銀行が当座預金の残高の一部に△0.1%のマイナス金利を適用すること等を含む金融緩和政策を続けていることが要因です。

## ポートフォリオについて

### ●MHAMライフ ナビゲーション 2050

期を通じて、MHAM日本株式マザーファンド受益証券、MHAM日本債券マザーファンド受益証券、MHAM海外株式マザーファンド受益証券、MHAM海外債券マザーファンド受益証券、MHAM短期金融資産マザーファンド受益証券への投資を行いました。各マザーファンド受益証券の組入比率については、概ね基本資産配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

### ●MHAMライフ ナビゲーション 2040

期を通じて、MHAM日本株式マザーファンド受益証券、MHAM日本債券マザーファンド受益証券、MHAM海外株式マザーファンド受益証券、MHAM海外債券マザーファンド受益証券、MHAM短期金融資産マザーファンド受益証券への投資を行いました。各マザーファンド受益証券の組入比率については、概ね基本資産配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

### ●MHAMライフ ナビゲーション 2030

期を通じて、MHAM日本株式マザーファンド受益証券、MHAM日本債券マザーファンド受益証券、MHAM海外株式マザーファンド受益証券、MHAM海外債券マザーファンド受益証券、MHAM短期金融資産マザーファンド受益証券への投資を行いました。各マザーファンド受益証券の組入比率については、概ね基本資産配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

### ●MHAMライフ ナビゲーション インカム

期を通じて、MHAM日本株式マザーファンド受益証券、MHAM日本債券マザーファンド受益証券、MHAM海外株式マザーファンド受益証券、MHAM海外債券マザーファンド受益証券、MHAM短期金融資産マザーファンド受益証券への投資を行いました。各マザーファンド受益証券の組入比率については、概ね基本資産配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

### ●MHAM日本株式マザーファンド

企業調査による利益成長性の分析及び株価バリュエーション分析等に基づき個別企業の投資価値判断を行い、中・長期的に投資魅力が高いと判断される銘柄に投資しました。主な購入銘柄は、日本電信電話、GMOペイメントゲートウェイ、リクルートホールディングスなどです。一方で、当面の業績動向が相対的に見劣りすると予想される銘柄などを売却しました。主な売却銘柄は、日立物流、ソフトバンクグループ、オリンパスなどです。

#### 【組入上位業種】

期末		
順位	業種	比率
1	電気機器	14.3%
2	情報・通信業	12.2%
3	サービス業	9.8%
4	輸送用機器	9.1%
5	銀行業	7.7%
6	化学	5.9%
7	卸売業	4.6%
8	医薬品	3.6%
9	保険業	3.5%
10	精密機器	3.4%

(注) 比率はMHAM日本株式マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### ●MHAM日本債券マザーファンド

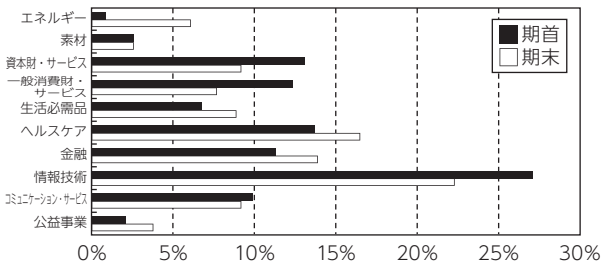
金利戦略は、金利上昇を見込み、修正デュレーション（金利感応度）をベンチマーク対比短期化とする戦略を継続しました。残存年限別構成戦略は、相対的に軟調に推移すると見込んだ超長期ゾーンをアンダーウェイトとする戦略を基本としました。種別構成戦略は、事業債のオーバーウェイトを維持しました。また、債券組入比率は高位を維持しました。

## ●MHAM海外株式マザーファンド

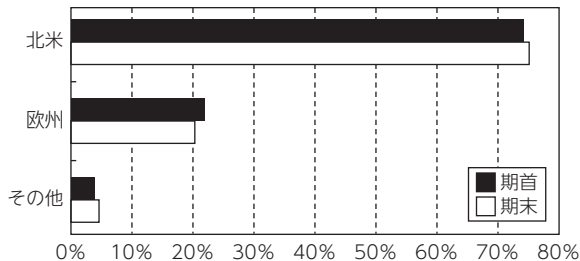
各国の景気動向や金融政策、企業業績見通しなどを見極めつつ、銘柄入替や保有比率調整を実施しました。業種配分では情報技術やコミュニケーション・サービスなどのウェイトを高めとしました。株式組入比率は高位を維持しました。為替ヘッジは行いませんでした。上記の運用を行った結果、基準価額は上昇しました。主な上昇要因として、保有銘柄であるオキシデンタル・ペトロリアム（米国、エネルギー）の株価上昇などが挙げられます。

期首：2021年6月30日 期末：2022年6月30日

### <業種別投資配分比率の推移>



### <地域別投資配分比率の推移>



### 〔組入上位銘柄〕

期末			
順位	銘柄	国または地域・業種	比率
1	APPLE INC	アメリカ/テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.5%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ/ソフトウェア・サービス	4.7%
3	ALPHABET INC-CL A	アメリカ/メディア・娯楽	4.1%
4	NEXTERA ENERGY INC	アメリカ/公益事業	3.0%
5	MASTERCARD INC	アメリカ/ソフトウェア・サービス	2.5%

(注1) 比率はMHAM海外株式マザーファンドの株式合計に対する評価額の割合です。

(注2) 国は発行国または地域。

●MHAM海外債券マザーファンド

ポートフォリオ全体の修正デュレーション（金利感応度）は、期を通じてベンチマーク対比長めとしました。国別金利リスク配分は米国や英国等でベンチマーク対比長めとした一方、ユーロ圏は短めとしました。債券残存期間構成は期初に米国でフラット化を見込むポジションとしましたが、期中にその度合いを緩和し、期末時点では中期以降を満遍なくオーバーウェイトとしました。通貨別配分は、ポーランドズロチのオーバーウェイトを期中に解消しました。

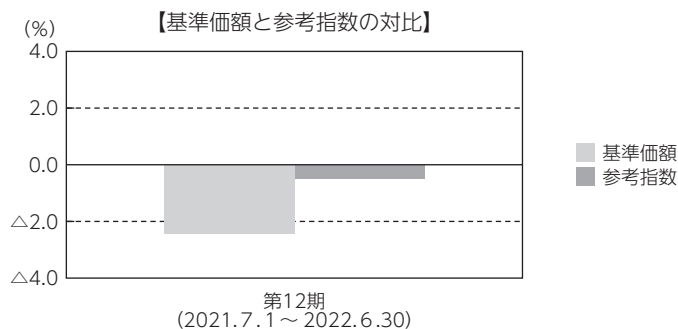
●MHAM短期金融資産マザーファンド

前回運用報告書に記載した「今後の運用方針」に基づき、残存期間が1年以内の短期公社債などで運用を行いました。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション 2050

### ■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

### ■ 分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2021年7月1日 ～2022年6月30日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	10,994円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

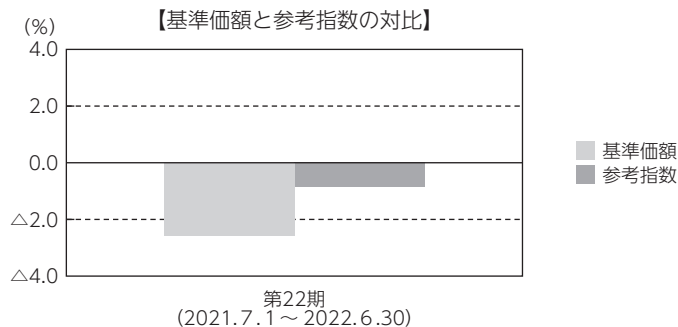
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション 2040

### ■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

### ■ 分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2021年7月1日 ～2022年6月30日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	7,007円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

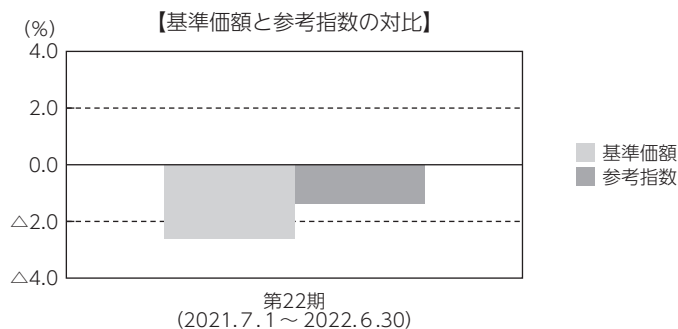
(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。



## ■ MHAMライフ ナビゲーション 2030

### ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

### 分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2021年7月1日 ～2022年6月30日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	5,453円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

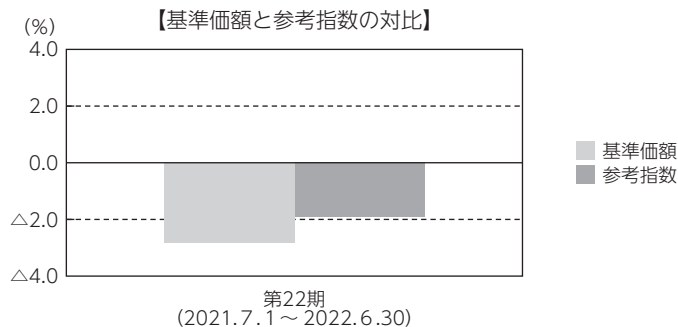
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション インカム

### ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2021年7月1日 ～2022年6月30日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,661円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●MHAMライフ ナビゲーション 2050

引き続き各マザーファンド受益証券を基本資産配分比率に基づき組み入れることにより、わが国および海外の株式・公社債等に分散投資を行い、リスク低減に努めつつ、信託財産の中・長期的な成長を目指します。各マザーファンドの運用方針については後述する各マザーファンドの今後の運用方針をご覧ください。

### ●MHAMライフ ナビゲーション 2040

引き続き各マザーファンド受益証券を基本資産配分比率に基づき組み入れることにより、わが国および海外の株式・公社債等に分散投資を行い、リスク低減に努めつつ、信託財産の中・長期的な成長を目指します。各マザーファンドの運用方針については後述する各マザーファンドの今後の運用方針をご覧ください。

### ●MHAMライフ ナビゲーション 2030

引き続き各マザーファンド受益証券を基本資産配分比率に基づき組み入れることにより、わが国および海外の株式・公社債等に分散投資を行い、リスク低減に努めつつ、信託財産の中・長期的な成長を目指します。各マザーファンドの運用方針については後述する各マザーファンドの今後の運用方針をご覧ください。

### ●MHAMライフ ナビゲーション インカム

引き続き各マザーファンド受益証券を基本資産配分比率に基づき組み入れることにより、わが国および海外の株式・公社債等に分散投資を行い、リスク低減に努めつつ、信託財産の中・長期的な成長を目指します。各マザーファンドの運用方針については後述する各マザーファンドの今後の運用方針をご覧ください。

### ●MHAM日本株式マザーファンド

今後の国内株式市場は、米金融政策の正常化に向けた動きやウクライナ情勢には留意が必要と考えますが、円安進行による企業業績の押し上げやバリュエーション上の割安感などから、徐々に落ち着きを取り戻すものと予想します。今期についても、中長期的に株主価値が高まっていく企業群で、且つバリュエーション面でも魅力が高いと見込まれる企業に選別投資していくことで、TOPIX対比での超過収益獲得に努めていきます。

### ●MHAM日本債券マザーファンド

日銀による長短金利操作付き量的・質的金融緩和の効果が継続することで、金利は低位で推移すると見込みます。金利戦略は、修正デュレーションを機動的に操作し、残存期間別構成戦略は、利回り曲線上で割安と判断する年限を厚めに保有します。種別構成・個別銘柄戦略は、信用力が安定的で、且つ利回り面で妙味があると判断される銘柄の組み入れを検討する方針です。

### ●MHAM海外株式マザーファンド

---

外国株式市場は、短期的には景気後退懸念から不安定な相場展開が続くと予想します。当面はリスク回避的な動きを意識したポートフォリオ運営を継続しますが、相場の転換に備えて、年初来の調整により割安感の強まった強固なファンダメンタルズを有する銘柄を選別し、新規購入やウェイトの積み増しを検討していく方針です。株式組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わない方針です。

### ●MHAM海外債券マザーファンド

---

インフレへの警戒から市場金利は大幅に上昇しましたが、景気動向は住宅ローン金利の急騰、実質賃金の低下、消費者ローンの急増など、既に不安定な状況にあります。また、金融環境の引き締めから今後株式や住宅市場が下落する場合には逆資産効果が働き、景気減速や後退のリスクが高まると考えます。こうした環境下、現在市場が織り込んでいる利上げの経路は実際には実現せず、中銀が金融政策姿勢の修正を迫られる中で金利は低下基調に戻ると考えます。

### ●MHAM短期金融資産マザーファンド

---

日本銀行は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。この間、無担保コール翌日物金利は引き続きマイナスの水準で推移すると考えます。この見通しのもと、今後も残存1年以内の短期公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

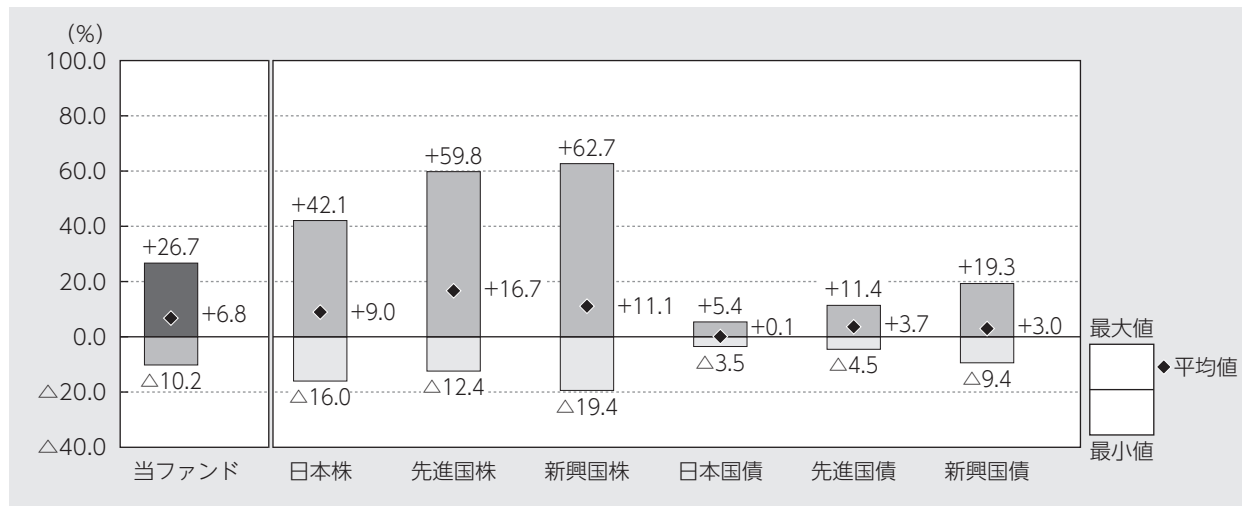
## 当ファンドの概要

### ■ MHAMライフ ナビゲーション ファンド

商品分類	MHAMライフナビゲーション2050	追加型投信／内外／資産複合
	MHAMライフナビゲーション2040	
	MHAMライフナビゲーション2030	
	MHAMライフナビゲーションインカム	
信託期間	2000年7月28日（MHAMライフ ナビゲーション 2050は2010年7月1日）から無期限です。	
運用方針	主としてわが国および海外の株式・公社債等に分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ信託財産の中・長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	MHAMライフナビゲーション2050	MHAM日本株式マザーファンド受益証券、MHAM日本債券マザーファンド受益証券、MHAM海外株式マザーファンド受益証券、MHAM海外債券マザーファンド受益証券およびMHAM短期金融資産マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	MHAMライフナビゲーション2040	
	MHAMライフナビゲーション2030	
	MHAMライフナビゲーションインカム	
	MHAM日本株式マザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
	MHAM日本債券マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
MHAM海外株式マザーファンド	日本を除く世界主要先進国の株式を主要投資対象とします。	
MHAM海外債券マザーファンド	日本を除く世界主要先進国の公社債を主要投資対象とします。	
MHAM短期金融資産マザーファンド	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。	
運用方法	MHAMライフ ナビゲーション 2050、2040、2030には、それぞれ安定運用開始時期が定められており、当初設定以降、安定運用開始時期に近づくにしたがって、定期的に株式の組入の漸減と、公社債および短期金融商品の組入の漸増が行われることにより、株価等の変動リスクを低減させる運用を目指します。 MHAMライフ ナビゲーション インカムには安定運用開始時期が設定されていません。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲として、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して収益分配を決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

## ■ MHAMライフ ナビゲーション 2050



2017年7月～2022年6月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

## \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

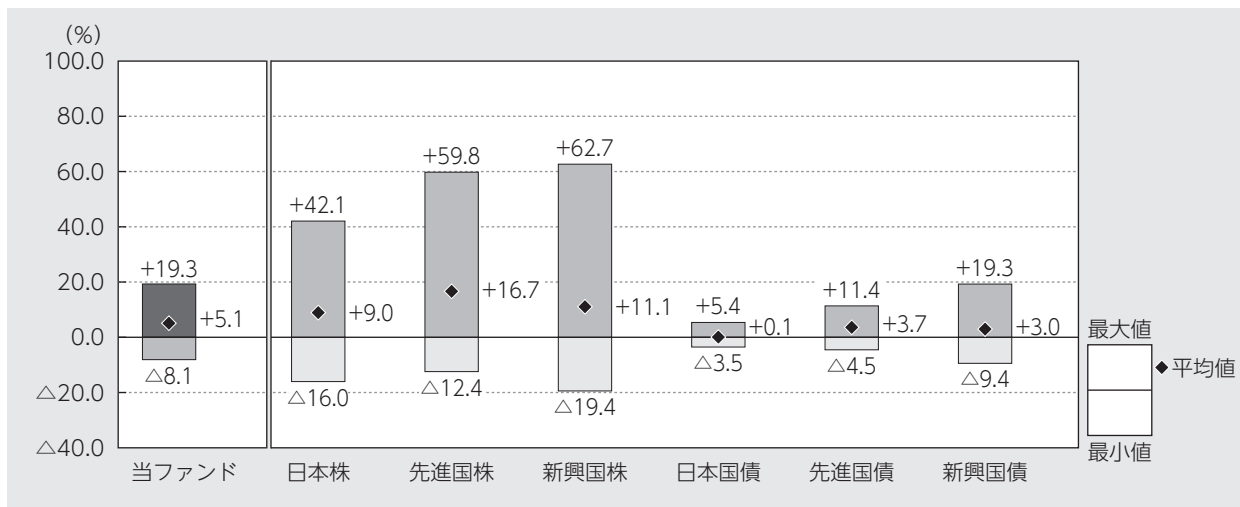
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション 2040



2017年7月～2022年6月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

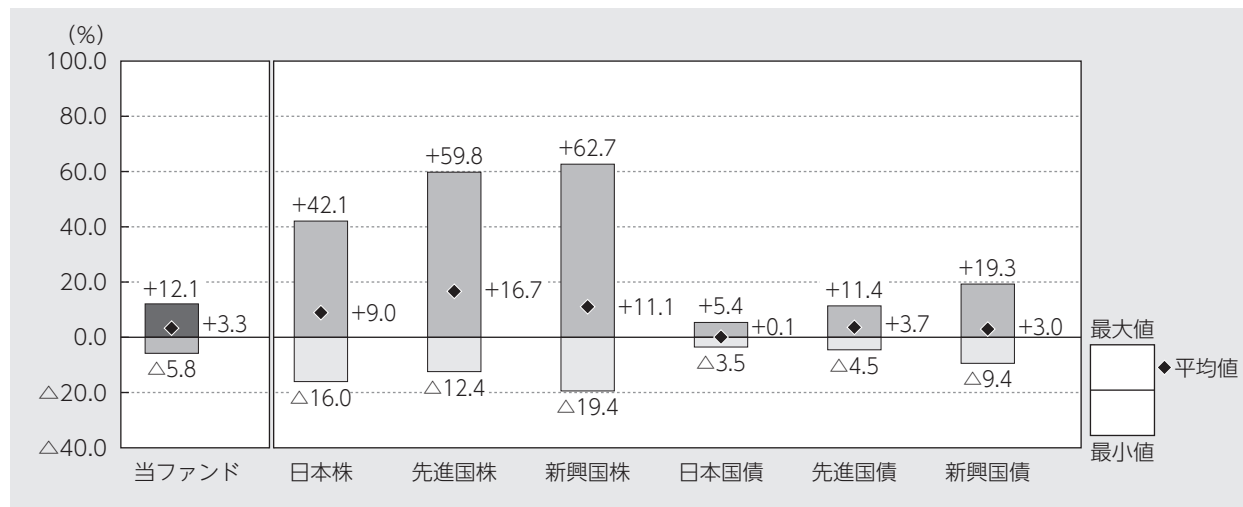
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション 2030



2017年7月～2022年6月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

## \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

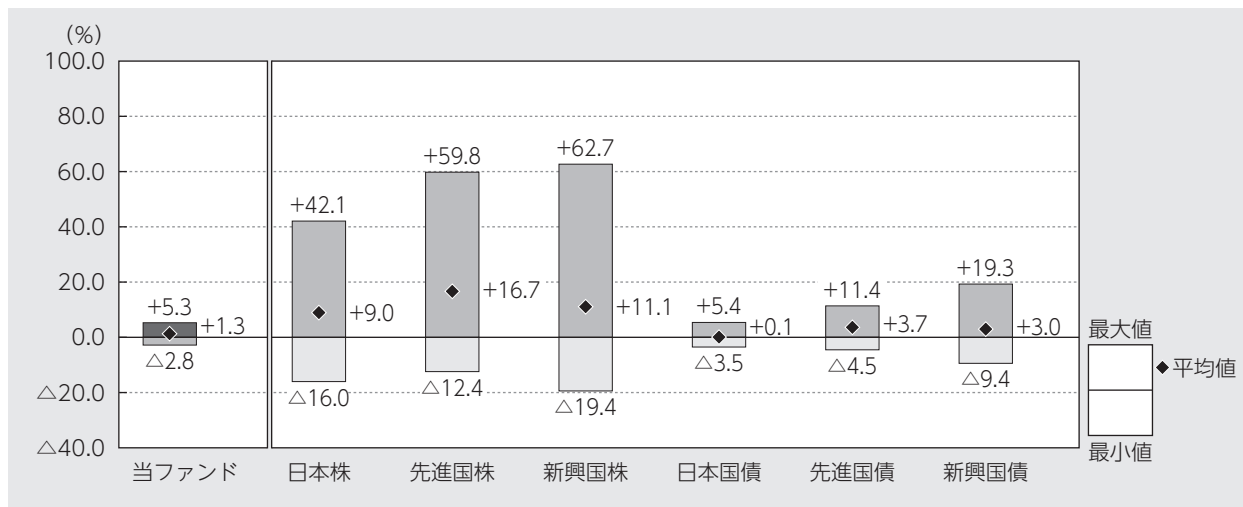
新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の&lt;代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について&gt;をご参照ください。



## ■ MHAMライフ ナビゲーション インカム



2017年7月～2022年6月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

\*各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### ■ MHAMライフ ナビゲーション 2050

#### ■ 当ファンドの組入資産の内容 (2022年6月30日現在)

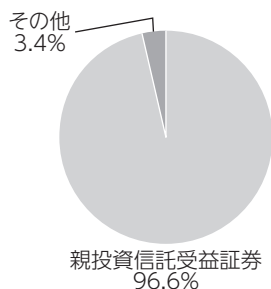
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：5ファンド)

	当期末
	2022年6月30日
MHAM日本株式マザーファンド	39.2%
MHAM日本債券マザーファンド	27.5
MHAM海外株式マザーファンド	19.2
MHAM海外債券マザーファンド	10.2
MHAM短期金融資産マザーファンド	0.6
その他	3.4

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

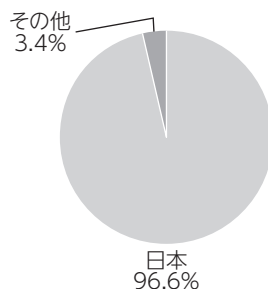
#### ◆資産別配分



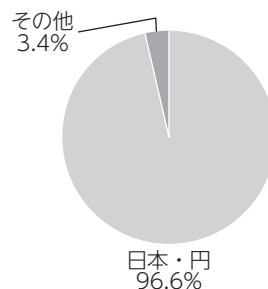
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



## 純資産等

項目	当期末
	2022年6月30日
純資産総額	436,819,791円
受益権総口数	208,059,243口
1万口当たり基準価額	20,995円

(注) 当期中における追加設定元本額は64,511,985円、同解約元本額は36,257,289円です。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション 2040

### ■ 当ファンドの組入資産の内容 (2022年6月30日現在)

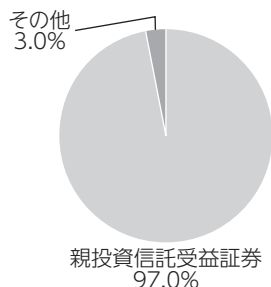
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：5ファンド)

	当期末
	2022年6月30日
MHAM日本株式マザーファンド	29.3%
MHAM日本債券マザーファンド	42.9
MHAM海外株式マザーファンド	14.4
MHAM海外債券マザーファンド	10.3
MHAM短期金融資産マザーファンド	0.1
その他	3.0

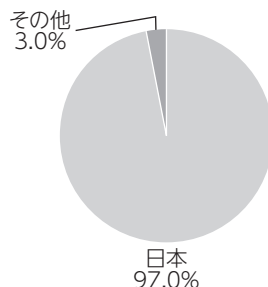
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

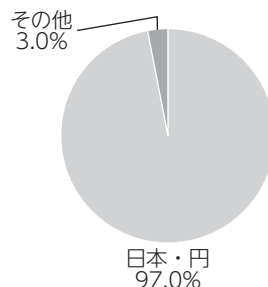
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### ■ 純資産等

項目	当期末
	2022年6月30日
純資産総額	2,160,322,147円
受益権総口数	1,581,017,245口
1万口当たり基準価額	13,664円

(注) 当期中における追加設定元本額は211,094,456円、同解約元本額は128,198,438円です。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション 2030

## ■ 当ファンドの組入資産の内容 (2022年6月30日現在)

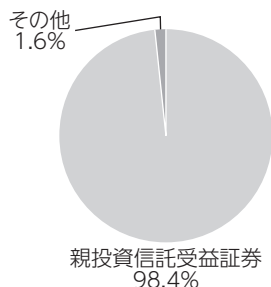
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：5ファンド)

	当期末
	2022年6月30日
MHAM日本株式マザーファンド	17.5%
MHAM日本債券マザーファンド	63.4
MHAM海外株式マザーファンド	8.6
MHAM海外債券マザーファンド	8.7
MHAM短期金融資産マザーファンド	0.3
その他	1.6

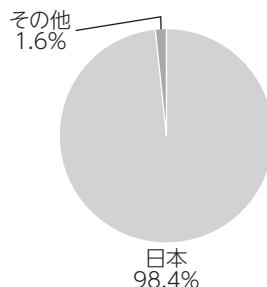
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

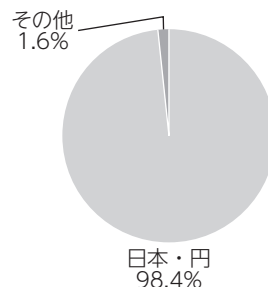
## ◆資産別配分



## ◆国別配分



## ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

## ■ 純資産等

項目	当期末
	2022年6月30日
純資産総額	2,209,997,898円
受益権総口数	1,726,556,640口
1万口当たり基準価額	12,800円

(注) 当期中における追加設定元本額は197,199,597円、同解約元本額は128,858,336円です。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション インカム

### ■ 当ファンドの組入資産の内容 (2022年6月30日現在)

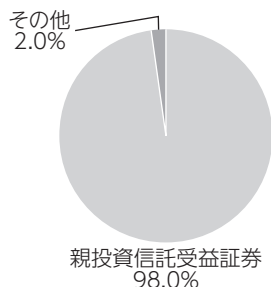
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：5ファンド)

	当期末
	2022年6月30日
MHAM日本株式マザーファンド	10.5%
MHAM日本債券マザーファンド	76.6
MHAM海外株式マザーファンド	5.2
MHAM海外債券マザーファンド	5.3
MHAM短期金融資産マザーファンド	0.5
その他	2.0

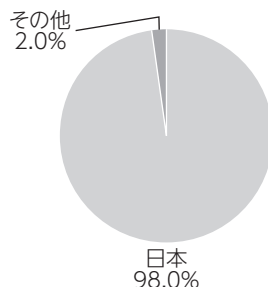
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

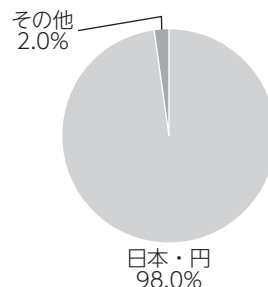
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### ■ 純資産等

項目	当期末
	2022年6月30日
純資産総額	546,766,658円
受益権総口数	457,870,681口
1万口当たり基準価額	11,942円

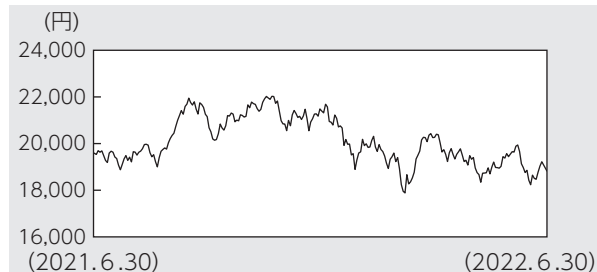
(注) 当期中における追加設定元本額は53,821,379円、同解約元本額は53,623,235円です。

## ■ MHAMライフ ナビゲーション ファンド

## ■ 組入ファンドの概要

[MHAM日本株式マザーファンド] (計算期間 2021年7月1日～2022年6月30日)

## ◆ 基準価額の推移



## ◆ 組入上位10銘柄

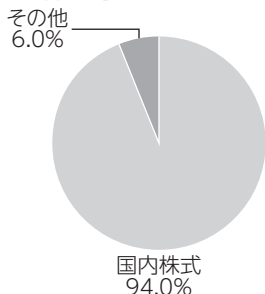
銘柄名	通貨	比率
トヨタ自動車	日本・円	4.7%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	4.0
ソニーグループ	日本・円	3.4
日本電信電話	日本・円	2.3
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	2.0
デンソー	日本・円	2.0
T&Dホールディングス	日本・円	1.9
信越化学工業	日本・円	1.8
伊藤忠商事	日本・円	1.8
三井物産	日本・円	1.8
組入銘柄数		86銘柄

## ◆ 1万口当たりの費用明細

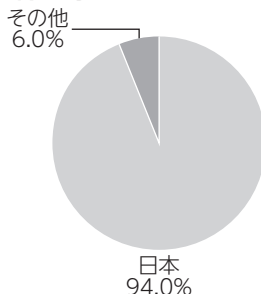
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	8円 (8)	0.038% (0.038)
合計	8	0.038

期中の平均基準価額は20,089円です。

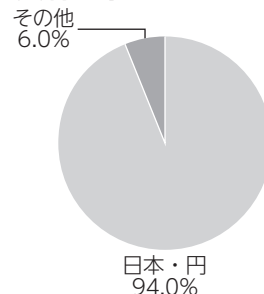
## ◆ 資産別配分



## ◆ 国別配分



## ◆ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

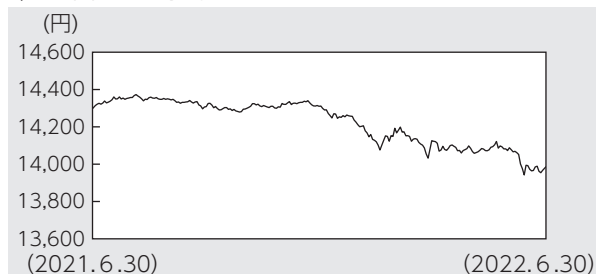
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【MHAM日本債券マザーファンド】（計算期間 2021年7月1日～2022年6月30日）

◆基準価額の推移



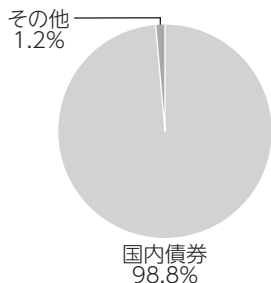
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
140回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	9.2%
146回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	6.8%
143回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	6.2%
360回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	4.9%
136回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	4.7%
150回 利付国庫債券 (20年)	日本・円	3.4%
149回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	3.4%
152回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	2.8%
425回 利付国庫債券 (2年)	日本・円	2.6%
356回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	2.3%
組入銘柄数	62銘柄	

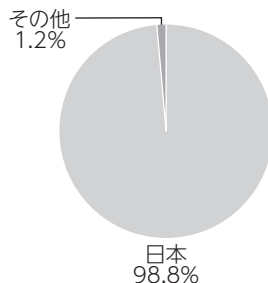
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

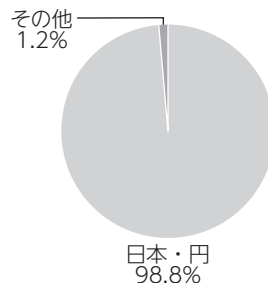
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

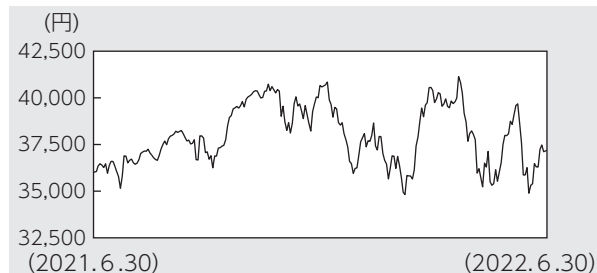
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## 【MHAM海外株式マザーファンド】（計算期間 2021年7月1日～2022年6月30日）

## ◆基準価額の推移



## ◆組入上位10銘柄

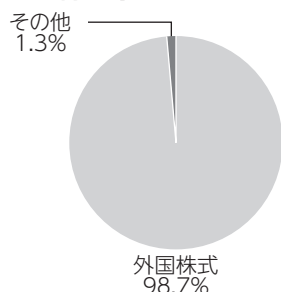
銘柄名	通貨	比率
APPLE INC	アメリカ・ドル	5.4%
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	4.6%
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	4.1%
NEXTERA ENERGY INC	アメリカ・ドル	3.0%
MASTERCARD INC	アメリカ・ドル	2.4%
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.0%
ZOETIS INC	アメリカ・ドル	1.9%
UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ・ドル	1.8%
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	アメリカ・ドル	1.7%
SYNOPTIS INC	アメリカ・ドル	1.7%
組入銘柄数		89銘柄

## ◆1万口当たりの費用明細

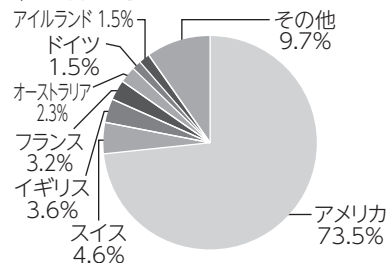
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	49円 ( 49)	0.129% (0.129)
(b) 有価証券取引税 (株式)	15 ( 15)	0.039 (0.039)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	136 (136) ( 0)	0.359 (0.358) (0.001)
合計	200	0.527

期中の平均基準価額は37,955円です。

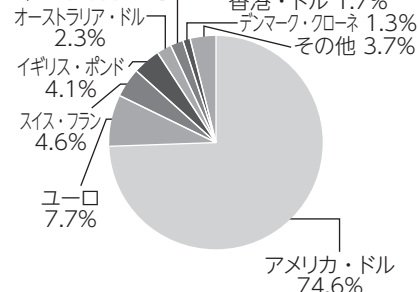
## ◆資産別配分



## ◆国別配分



## ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 国別配分、通貨別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。

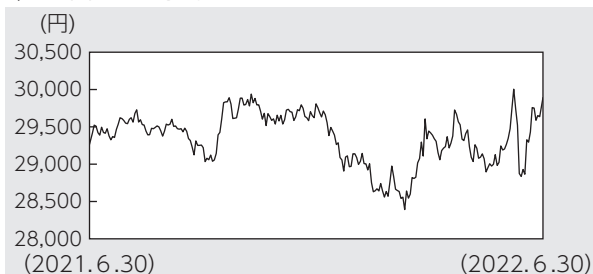
(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。



## [MHAM海外債券マザーファンド] (計算期間 2021年7月1日～2022年6月30日)

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄

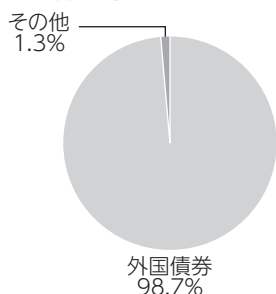
銘柄名	通貨	比率
US T N/B 1.625 05/15/31	アメリカ・ドル	12.6%
DEUTSCHLAND 1.5 05/15/23	ユーロ	8.0
US T N/B 2.5 03/31/27	アメリカ・ドル	7.7
US T N/B 1.75 01/31/29	アメリカ・ドル	5.9
US T N/B 2.25 11/15/27	アメリカ・ドル	5.5
US T N/B 1.5 08/15/26	アメリカ・ドル	5.4
DEUTSCHLAND 2.0 08/15/23	ユーロ	5.2
FRANCE OAT 0.0 02/25/23	ユーロ	5.0
US T N/B 4.5 02/15/36	アメリカ・ドル	4.2
US T N/B 2.25 08/15/49	アメリカ・ドル	4.1
組入銘柄数		35銘柄

### ◆1万口当たりの費用明細

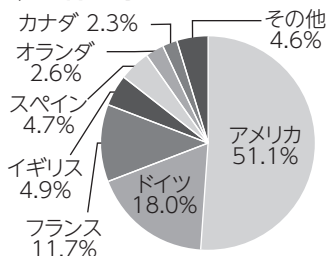
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	20円 (20) ( 0)	0.069% (0.069) (0.000)
合計	20	0.069

期中の平均基準価額は29,347円です。

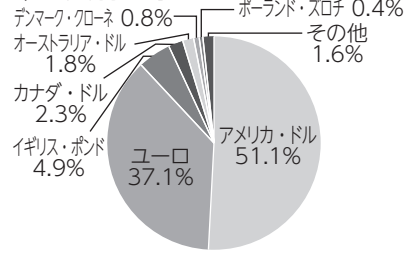
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

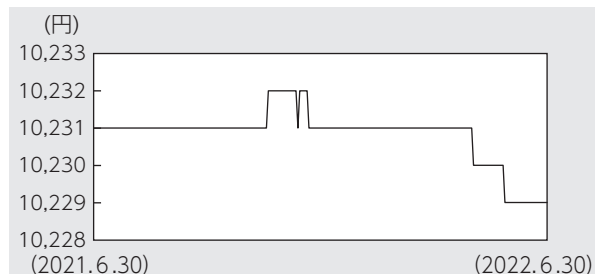
(注6) 国別配分、通貨別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

## 【MHAM短期金融資産マザーファンド】（計算期間 2021年7月1日～2022年6月30日）

### ◆基準価額の推移



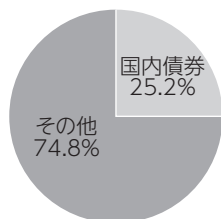
### ◆組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
375回 中国電力社債	日本・円	7.4%
11回 東海旅客鉄道社債	日本・円	7.3
12回 東京電力パワーグリッド社債	日本・円	5.2
122回 東武鉄道社債	日本・円	5.2
組入銘柄数	4銘柄	

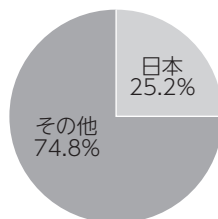
### ◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

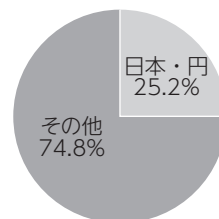
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## <組入マザーファンドのベンチマークについて>

### ●東証株価指数（TOPIX）

「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広く網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

### ●NOMURA-BPI総合

「NOMURA-BPI総合」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表すために開発した経過利子込時価総額加重型の投資収益指数です。NOMURA-BPI総合の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●MSCIコクサイ指数（為替ノーヘッジ・円ベース）

「MSCIコクサイ指数（為替ノーヘッジ・円ベース）」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### ●FTSE世界国債指数（除く日本、為替ノーヘッジ・円ベース）

「FTSE世界国債指数（除く日本、為替ノーヘッジ・円ベース）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●無担保コール翌日物累積指数

「無担保コール翌日物累積指数」は、委託会社において、わが国の無担保コール翌日物金利の累積投資収益率を算出し、指数化したものをいいます。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。